

事業報告

<研修名>

平成30年度 新任社会教育行政職員・新任社会教育主事研修会

<開催日時>

平成30年5月10日(木) 13:00~17:00
5月11日(金) 10:00~16:00

<会場>

県立図書館 第2・3研修室

<参加人数>

31名

<研修趣旨>

新任の社会教育行政職員として生涯学習・社会教育に関する基礎的・基本的な知識を習得するとともに、業務遂行に必要な人的ネットワークづくりやスキルアップを図り、社会教育行政職員および社会教育主事としての使命と役割を理解する。

<研修内容>

————5月10日(木)————

【研修1】講義 「生涯学習・社会教育行政職員への期待」

【研修2】講義 「社会教育・生涯学習の特質と社会教育職員としての取り組み」

講師：大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏

演習Ⅰ「社会教育行政職員の役割」

講師：大分大学高等教育開発センター 講師 正木 遥香 氏

研修1は、「生涯学習」と「社会教育」とはどのようなものか、法律に規定された業務・内容・職員の役割・施設、また、主な社会教育事業などについて基本的な内容についての講義でした。

研修2では、社会教育活動の現状や課題についての説明、社会教育行政職員・社会教育主事としてどのような取り組みが期待されているか講義があり、その後、演習で小グループをつくり、ふりかえりを行いました。

————5月11日(金)————

【研修3】講義「社会教育の動向」大分県立図書館 学校・地域支援課長 森山 貴仁

当館、学校・地域支援課長・主任社会教育主事より、社会教育を取り巻く社会環境の変化と課題、それに応じて求められる社会教育の役割や方向性などについて、第3期教育振興基本計画も踏まえて講義がありました。

【研修4】講義「大分県における生涯学習・社会教育の特色」

大分県教育庁社会教育課 生涯学習推進班 課長補佐 後藤 裕之 氏

大分県教育庁社会教育課生涯学習班 課長補佐兼主任社会教育主事より、大分県における生涯学習・社会教育の特色について、「協育ネットワーク活動」「子どもの読書推進活動」「公民館を拠点とした地域人材の育成」「社会教育関係団体や地域社会団体と連携した県民活動の推進」「県立青少年の家や図書館を活かした青少年および地域人材の育成」など、取り組みの紹介がありました。

【研修5】講義 「生涯学習・社会教育と地域の暮らし」

【研修6】演習Ⅱ 「社会教育行政職員としてのこれからの取り組み」

講師：別府大学文学部人間開発学科 准教授 長尾 秀吉 氏

暮らしの中の生涯学習・社会教育について、公民館での具体的な事例などを交えながらの講義でした。「実生活に即する」教育とはどのようなものか、今、生涯学習・社会教育が求められる背景にはどのような課題があるのか、また、社会教育施設や職員はどのようなことを心に留めればよいのかなど、講義の後は、3～5名の小グループに助言者が1名ずつ入り、実際の業務と重ね合わせながらこれからの取り組みについて考えました。

<当日の様子（写真）>

【開会行事】



【研修1】「生涯学習・社会教育に関する基礎知識」

大分大学高等教育開発センター 教授 岡田 正彦 氏



【研修2】（演習Ⅰ）「社会教育行政職員の役割」

大分大学 講師 正木 遥香 氏



【研修3】「今後の社会教育の動向」

県立図書館 学校・地域支援課長 森山 貴仁



【研修4】「大分県における生涯学習・社会教育の特色」
県教育庁 社会教育課生涯学習班
課長補佐兼主任社会教育主事 後藤 裕之 氏



【研修5】「生涯学習・社会教育と地域の暮らし」
別府大学文学部人間開発学科 准教授 長尾 秀吉 氏



【研修6】（演習Ⅱ）「社会教育行政職員としてのこれからの取り組み」



<参加者感想>

- 生涯学習・社会教育に取り組み従事していく上での多くのヒントが得られた。
- この2日間の研修で少し気持ちが軽くなった。
- 楽しく2日間学び、つながることができた。
- 情報が多く、自分の中でまとめるのに大変だったが、先生方の熱い講義で不安よりも「よし頑張ろう!」という気持ちが強くなった。
- 職務内容が大きく変化し、自分の今やっている仕事の内容についてじっくり考える余裕のない1ヶ月を過ごしてきたが、この1ヶ月およびこの先、とりあえず1年をじっくり考えることができる時間となった。
- 時間をつくっていろんな所に出かけ、自分をまず知ってもらおうと思った。